

日本はどいつなるの？

自民党 改憲案

危険がきりぬー！

自民党は今度の参議院選挙で憲法改定を争点にしようとしています。
でもみなさん、自民党改憲案の中身を御存知でしょうか？
国家権力は時として暴走する時がある、というのが過去の戦争や悲惨な歴史を通して世界が学んだ教訓でした。
その反省の上に立ち一人ひとりの人間の尊厳が尊重されるように
国家や支配層に対して国民の側から制約を課すーそれこそが憲法の目的であり、
それを近代立憲主義とよびます。
立憲主義を根底から覆し、逆に国民を縛ろうというのが自民党の憲法改正草案なのです。

伊丹革新懇が企画する最初の学習会として、神戸学院大学大学院教授上脇博之先生に、
日本国憲法と自民党改憲案の違いについてわかりやすくお話して頂きます。ぜひ、お越しください。

2013年6月28日(金) 19:00~21:00

いたみホール 中ホール

【主催】平和・民主・革新の日本をめざす伊丹の会 (伊丹革新懇)

【連絡先】中島 隆夫 (072-777-9428)



上脇 博之 (かみわき ひろし)

1958年生まれ

神戸学院大学大学院実務法学研究科教授

著書に

「日本国憲法VS自民党改憲案 緊迫！9条と96条の危機」

「なぜ4割の得票で8割の議席なのか」

「議員定数を削減していいの？」

「ゼロからわかる政治とカネ」

【いずれも日本機関紙出版センター】 ほか多数